

単元名 「将来の生き方について考えよう —進路を意識して自己を見つめる—」

第3学年

◆本実践の概要

中学校3年生は義務教育の最後の1年となる。その後は一人一人生き方を選んで進んでいく。本実践は総合的な学習の時間と、特別活動や進路学習などに関連付けて横断的に展開した。中学校卒業後の進路選択への知識や理解を深めるとともに、これまでの中学校3年間を振り返る活動から自分自身を見つめ直し、自己の将来の生き方を考えることができるようにすることをねらったものである。

1 単元の目標

職業や自己の将来に関する探究活動を通して、中学校卒業後の自己の生き方についての理解を深めるとともに、これまでの探究活動を振り返って自分自身を見つめ、自己の将来の生き方を考えることができるようにする。

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 学習や体験を通して学んだことは、進路実現のみならず、今後の自分自身の生き方に深く関わっていることを理解している。	① これまでの学習を振り返り、今後の生き方に関して自ら課題を設定している。	① 課題解決に向けて、他者の意見を参考にして粘り強く取り組み、自身の活動を振り返りながら次時の活動に生かそうとしている。
② 調べたことや体験から考えたこと他者に伝え、情報交換をする活動を基にして、自分の考えを深めていく方法を身に付けている。	② 調べたことや交流した内容、体験したことから、必要な情報を選択し、自分自身と関連付けながら情報を蓄積している。	② 他者との情報交換の中で、他者の考えを認め、理解しようとしている。
③ 職業や進路に関する理解は、将来の生き方や自己実現について、探究的に学習してきたことの成果だと気付いている。	③ 学習で得た情報を整理し、自分の考えをまとめている。	③ 学習を通して、自分の将来や生き方について主体的に考えていこうとしている。
	④ 相手や目的に応じて自分自身が調べたり考えたりしたことをまとめ、適切な方法で表現している。	

3 単元について

本単元では、自己の生き方について、特別活動や進路学習と関連付けて横断的に振り返る。そして、「将来の自分に向けたメッセージをつくる」取組を通して、自己を見つめ、更なる成長と将来の生き方について考えを深め、今後の自分への決意やエールを作成する。生徒それぞれが3年間の学習を振り返り、生徒同士で互いの考えを交流し、学び合うことを通じて、自分の考えを深めるとともに、今後の生き方を考え、次の課題を見付けることをねらいとしている。

卒業後の進路について一人一人が考える1年間を、高校進学だけでなくその先の生き方につながるように、これまで学んだ様々なことを生かして自己の生き方を前向きにとらえ、現実のものとして考えていける力を獲得できるようにしていきたい。

4 指導と評価の計画（全16時間）

小単元名	ねらい・学習活動(抜粋)	評価規準（評価方法）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1～8 卒業後の生き方について、自分に合った進路を考える。	○卒業後の進路について、今まで調べてきた情報をもとに、進路選択の概要を知る。将来の自分を主体的に考える。 ○これまでの学校生活や学習を振り返るとともに、自らが希望する進路の実現に向けて今後の生活や学習の計画を立てる。	①（感想用紙・レポート）	①（感想用紙・レポート）	
	○体験を発表し、進路選択への理解と考えを広げ、進路実現に向けた意欲を高める。 ○仲間から、質問やアドバイスなどをもらうことにより、より深く考え、自身の進路決定に生かす。	②（レポート・交流の内容・発表の様子）		②（レポート・交流の内容・発表の様子）
9～13 これまでを振り返り、自己の生き方考える。	○3年間の学習を振り返り、今後の自分の生き方について具体的に考える。 ○仲間から質問やアドバイスもらうことで、自身の考え方をより広く深いものにする。		②（ワークシート・交流の内容・発表の様子）	②（ワークシート・交流の内容・発表の様子）
	○仲間との交流を通して、自身の考え方をより広く深いものにする。 ○自分の将来を改めて考える。将来の自分を支えるメッセージをつくる。		③（ワークシート・交流の内容・発表の様子）	①（ワークシート・交流の内容・発表の様子）
	○将来の生き方につながるメッセージを仲間と交流する。 ○交流を通して感じた事や考えたことをメッセージに書き加える。	③（ワークシート・発表の様子・交流の内容）	④（ワークシート・発表の様子・交流の内容）	③（ワークシート・発表の様子・交流の内容）
14～16 今後の自己の生き方考える。	○これまでの中学校生活や仲間からの意見をもとに、自分の生き方に関する課題を設定する。 ○今後の自己の生き方について考える。		①（ワークシート）	③（ワークシート）

5 本時の授業（第13時）

(1) 本時の目標

仲間との交流を通して自身の考え方をより広く深いものにすることで、将来の自分に向けたメッセージをつくる。

(2) 本時の評価規準

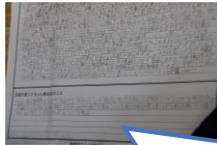
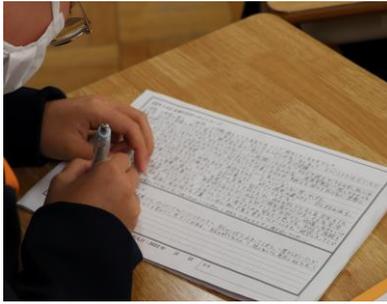
交流を通して感じたことや考えたことを書き加え、将来の自分へのメッセージを完成させる。

【主体的に学習に取り組む態度③】

(3) 本時の実際

過程	主な学習活動と生徒の反応	評価と配慮事項
<p style="writing-mode: vertical-rl;">つかむ 5分</p>	<p>1. 前回までの学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助ワークシートと本時ワークシートを見て振り返る。 ・本時では、メッセージに込めた思いや考えを説明しながら発表し、仲間と交流する。 <p>2. 本時の学習目標をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流のポイントや「深める」方法について確認する。 ・交流を踏まえ、メッセージに仲間や自分の新たな思いを書き加える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>将来の自分へのメッセージを深め、自分の生き方について考えをまとめよう。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="245 611 730 907"> <p style="font-size: small;">補助ワークシート</p> </div> <div data-bbox="823 611 1430 896"> </div> </div> <div style="background-color: yellow; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>補助ワークシートでは、これまでの体験や学習を「生き方」につながる視点（進路・職業・生き方）から振り返り、文章でまとめた。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の振り返りと本時の流れを説明していく。
<p style="writing-mode: vertical-rl;">考える・深める 25分</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>仲間との交流をいかしてメッセージを完成させよう。</p> </div> <p>3. 作成したメッセージを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表者は、発表内容がわかりやすく伝えられているかを意識する。 <p>4. 他の人の発表を聞いて、メッセージに関する励ましやアドバイス、「気付いたこと」「見習いたいこと」などについて意見交換を行う。</p> <p>○3、4を1セットとし4回行う。(発表3分、交流3分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・付箋紙を用いて交流する。 ・意見を具体的に発言し、付箋紙に記入できるよう促す。付箋の交流時には、内容を口頭で発表者に伝えてから渡す。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="245 1579 639 1836"> </div> <div data-bbox="679 1594 874 1727"> </div> <div data-bbox="1182 1666 1453 1861"> </div> </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>〈ある付箋〉いつも勉強を教えてくれたり、目標に向かって努力できたりしていると思うから、これからも続けて頑張ってくださいね。色々応援しています。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・交流を通して、「自分の決意」「将来への前向きな姿勢」などを明らかにできるように机間指導を行う。

<p>深める 15分</p>	<p>5. 他の人の発表や仲間からの意見を参考にして、メッセージを完成させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の進路学習を踏まえて、未来の自分へのメッセージを完成させる。 ・交流した内容を参考にして、考えを深められるようにする。 	<p>○主体的に学習に取り組む態度③ (ワークシート)</p>
<p>まとめる 5分</p>	<p>6. 今日の授業を振り返って考えたことや感じたことをワークシートに記入する。</p> <p>見通し（ゴールイメージとプロセスイメージ）をもたせ、学習目標に対して振り返りを行うことで、自己の状況を捉えられるようにした。</p>	<p>・一言で終わっている生徒には、これまでのキャリア学習についても振り返るように促す。</p>



〈生徒の記述より〉
 友達からメッセージをもらって分かったことがあった。「自分は楽しめる」ってことだ。私は人を楽しませるのも大好き。まずは自分が楽しむ。その上で人を楽しませる、笑顔をつくる、そんな生き方に私の幸せが詰まっているのかもしれない。

6 実践を振り返って

本事例は、総合的な学習の時間と、特別活動や進路学習などを横断的に関連付けて展開するとともに、生徒に見通しをもたせ、振り返りで自己評価を繰り返す中でメタ認知を高めていくことを意図した。総合的な学習の時間を幅広い内容とつなげて実施することの重要性と有効性が確認できたとともに、生徒たちが自ら課題に向き合う姿が見られた。

実践を通して、「自分の生き方」という難しいテーマについて粘り強く考えることができていたことは大きな成果である。ゴールイメージを意識し、これまでの学習活動を繰り返し振り返ることで、生徒自身がその学びの意味と自身の成長を感じることができ、それを基にして考えを深めることができていた。

また、仲間との交流を通して、自分自身がもっていなかった視点や、自分自身の新たな一面にも出会う様子が見られた。こうした学習の積み重ねがメッセージの内容にも表現されていた。前向きで意欲的な内容が多く、生徒たちが自分の生き方について主体的に希望をもって向き合う姿が見受けられた。

一方で、課題点や改善点も見られた。本時で活用したワークシートの他に、前時の学習までの中に補助ワークシートを記入する場面を設けた。これらのワークシートはこれまでの学習内容を「学習」「就職」「生き方全体」の視点で振り返るために作成したものである。これらのワークシートによって、これまでの学習内容を視覚的にとらえ、学習の振り返りが明確になる効果はあった。しかし、記述箇所の多さから作成に時間がかかってしまった。その分、生徒同士の交流の時間が限られてしまうことになった。